

Ⅲ 南海トラフ地震対策資料

対策の前提とする地震・津波

1. 地震・津波の規模

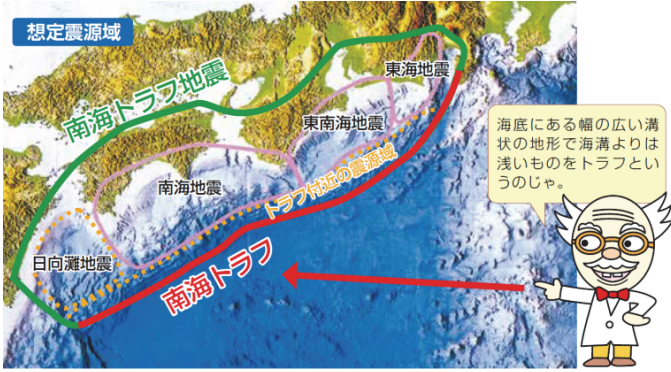
○最大クラスの地震・津波

- ・現時点の最新の科学的知見に基づく**発生しうる最大クラスの地震・津波**
- ・発生時期を予測することはできないが、その**発生頻度は極めて低いもの**

2. 想定される震源域

■想定震源域図

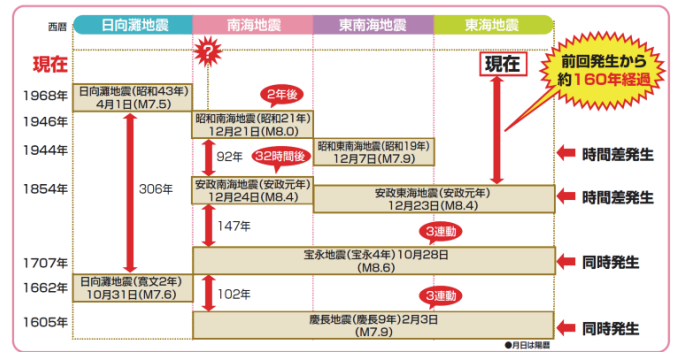
(参考:海上保安庁海洋情報部と中央防災会議資料をもとに高知大学総合研究センター岡村眞特任教授改変)



3. 過去の地震

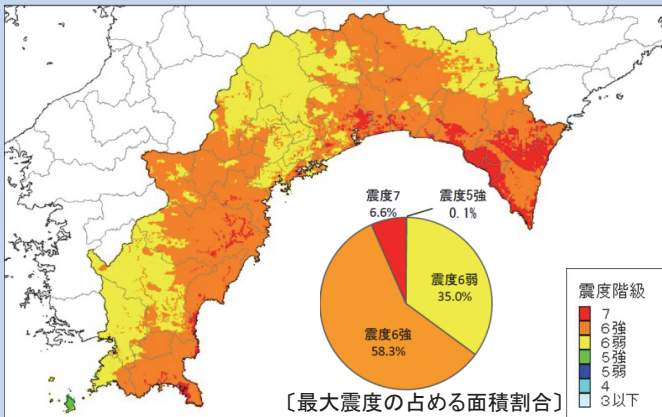
■1600年以後の東海・東南海・南海・日向灘地震

(参考:「地震調査研究推進本部 南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)」について)をもとに作成)



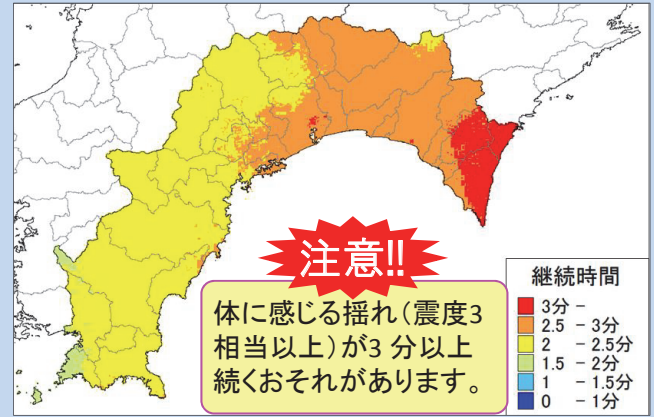
4. 地震の揺れの想定(最大クラス重ね合わせ) (H24.12高知県公表)

○震度分布図(震度7:26市町村、震度6強:8市町村) (どのくらい揺れが強いのか)



○地震継続時間分布図

(体に感じる揺れ(震度3相当以上)が続く時間)



5. 津波や浸水の想定

○各市町村の海岸線での最大津波高

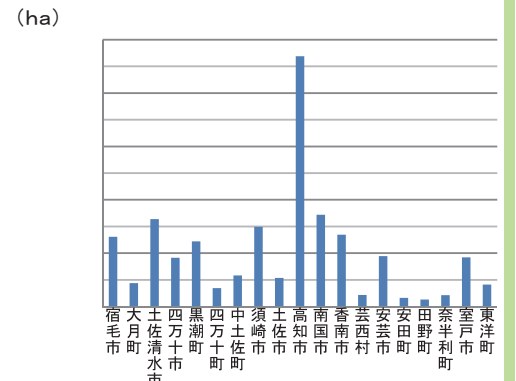
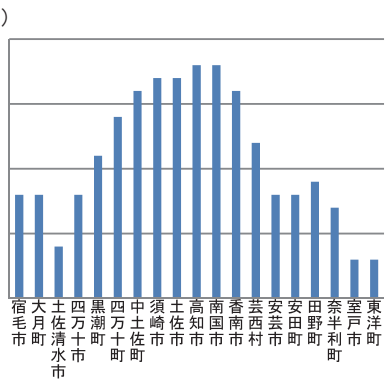
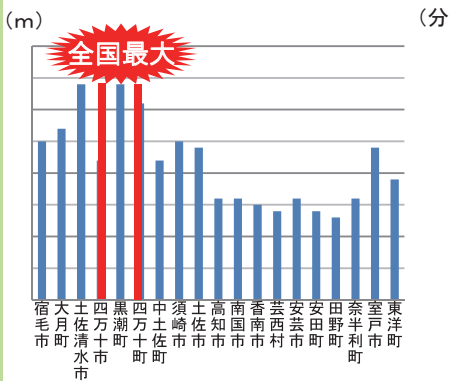
○海岸線への津波到達時間

○津波浸水面積

(津波高1m)

(津波高1m)

(県全体の浸水面積 約19,000ha、最大重ね合わせ浸水面積)



注意!! 津波は第一波が最大とは限りません。

注意!! 津波は何度も繰り返し押し寄せてきます。

対策を進めることによる減災効果

1. 人的・物的被害の想定 (H25.5高知県公表) 人的被害(死者数)が最大となるケースで想定

| ○想定される主な被害 | | ○全壊・焼失建物棟数の内訳 | | ○負傷者・死者数の内訳 | | |
|------------|----------------------------|---------------|-----------|-------------|----------|----------|
| 全壊・焼失建物棟数 | 約153,000棟 | 液状化 | 約1,100棟 | | 負傷者数 | 死者数 |
| 負傷者数 | 約36,000人 (内重傷者数20,000人) | 揺れ | 約80,000棟 | 建物倒壊 | 約33,000人 | 約5,200人 |
| 死者数 | 約42,000人 | 急傾斜地崩壊 | 約710棟 | 急傾斜地崩壊 | 約140人 | 約110人 |
| 断水人口 | 約575,000人 (給水人口の82%) | 津波 | 約66,000棟 | 津波 | 約2,900人 | 約36,000人 |
| 停電軒数 | 約521,000軒 (停電率約99%) | 火災 | 約5,500棟 | 火災 | 約300人 | 約500人 |
| 避難者数 | 約438,000人 | 合計 | 約153,000棟 | 合計 | 約36,000人 | 約42,000人 |

○地震・津波の設定
・揺れ・陸側ケース (高知県の直下で強い揺れが発生するケース)
・津波・ケース④ (四国沖で大きな津波が発生するケース)



○時間・条件の設定
・時間帯: 冬深夜
・住宅の耐震化率: 74%
・津波早期避難率: 20%

2. 対策による被害の軽減

【県・市町村の取り組み】

○津波避難空間の確保

| | H25年3月までに整備済(累計) |
|----------|------------------|
| 避難路・避難場所 | 361カ所 |
| 津波避難タワー | 17基 |

〔津波避難タワー〕 〔津波避難路〕

○地震・津波に関する情報提供・広報 (パンフレットや広報誌、起震車による啓発)

- 防災教育、訓練の支援と充実
(備えちよき隊の派遣、県内一斉避難訓練)
- 自主防災活動の支援
- 住宅耐震化の支援
- 高齢者世帯などの家具固定の支援
- 堤防などのハード整備の推進
- 津波避難空間の確保

| | H25年度末までに整備予定(累計) | 計画総数 |
|----------|-------------------|---------|
| 避難路・避難場所 | 1,033カ所 | 1,437カ所 |
| 津波避難タワー | 90基 | 117基 |

- 住宅耐震化の支援
- 高齢者世帯などの家具固定の支援

- さらなる津波避難空間の確保
- 堤防などのハード整備の推進

【地域・家庭の取り組み】

取り組み以前 死者数:約53,000人

津波早期避難率 : 20%
住宅耐震化率 : 74%
津波避難空間 : 未整備

+11,000人

津波避難空間の確保が
されていないとしたら

現状 死者数:約42,000人

津波早期避難率 : 20%
住宅耐震化率 : 74%
※津波避難空間整備率 : 24%

津波避難意識の向上
津波避難空間の確保

-31,000人

3年後の減災目標 死者数:約11,000人

津波早期避難率 : 100%
住宅耐震化率 : 77%
※津波避難空間整備率 : 100%

住宅の耐震化率が
100%になると

-9,200人

将来 死者数:約1,800人

津波早期避難率 : 100%
住宅耐震化率 : 100%
※津波避難空間整備率 : 100%

さらなる取り組みの拡充

- 防災意識の向上
- 自主防災活動
- 避難訓練の実施
- 住宅の耐震化
- 家具の固定

- 住宅の耐震化
- 家具の固定

- 地域の津波避難計画を再点検
- 避難訓練を繰り返して実施
- 建築物のさらなる安全性の向上

※津波避難空間(避難場所や避難タワーなど)は、平成25年6月時点の整備予定数を基に計算しています。

死者数を
限りなくゼロに!!

